

# 先輩インターンの活躍について

派遣年度	2013	インターン番号	KB074	タイプ	公募型
派遣国	バングラデシュ人民共和国			派遣都市	チッタゴン
受入機関	Chittagong Water Supply & Sewerage Authority (CWASA)				
受入機関概要 (事業内容等)	バングラデシュ第2の都市チッタゴンの主に都市部において 上水道の整備・水供給を担当				
派遣期間	2013年9月24日 ~ 2013年12月20日				
現在の所属先	東京工業大学大学院		当時の所属先	東京工業大学	
現在の所属部署	総合理工学研究科 博士課程		所在地	神奈川県	
区分	学生		性別	男	

## 1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

インターン以前からは新興国に興味がありましたが、これまで蓄えてきた経験や知識がどのように活かせば良いのかイメージが持てていませんでした。本インターンシップでは、それらを国際社会という場でどう発揮するのか体験する良い機会だと考え参加を決意しました。

## 2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

- ・CWASAの各部門を訪問、上水道関連施設および工事現場の視察
- ・Khulna WASA訪問
- ・レポート作成・プレゼンテーション
- ・村落部におけるホームステイ、孤児院訪問

## 3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

- ・語学力: 英語のSpeaking力がある程度向上しました。
- ・コネクション: 3ヶ月間の滞在中、多くの人と交流し今後にも繋がるコネクションを築くことができました。
- ・視野: 自らの視野の広がりを感じ、海外、特に新興国で働くことを強く意識し始めました。
- ・弱点: 新たな取り組みを多く取り入れた結果、自らの不得意な分野を多く把握することができ、その後の改善に繋がりました。

### インターンシップ風景



水道管敷設工事現場



最終プレゼン終了後、修了式の様子

#### 4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

##### 【コネクションを活かし、教育分野の活動に繋がる】

「日本×バングラデシュ姉妹学級プロジェクト」と題して、2014年12月から3月までの4ヶ月間で、日本およびバングラデシュの子供たち約750名に国際交流と科学の楽しさに触れてもらう機会を提供しました。本プロジェクトは、計4回のワークショップ（長野県中学校にて3回、バングラデシュ・チッタゴンの孤児院にて1回）を通して、日本とバングラデシュの中学生の交流を促進し、国際理解や理系志向の向上を狙うものでした。実施にあたり、JETRO・HIDAの皆様には安全情報などを頂き、また、バングラデシュ現地の方々や、当時滞在中のインターン生には滞在環境や交通手段など全面的な支援を頂き、その他にも多くのご支援を頂き、無事にプロジェクトを遂行することができました。

本プロジェクトを企画しようと考えたのは、私が「教育」と「新興国」に興味があり、どのような分野を将来の職としていくか悩んでいたことが1つのきっかけです。約8年間電気系を学んできた私にとって、教育と新興国を軸に仕事をするためには、何か1つ強みが必要であることをインターンシップを通じて学びました。自らの強みは何なのか、教育と新興国を軸にするにはどのような活動をすれば良いのか、実際に体験し肌で感じる機会を実現することができ、非常に多くの気づきを得ることができました。

素晴らしい機会を実現してくれた、このコネクションこそがインターンシップで得た最も大きな財産の1つと言えます。

##### 【将来の進路設計に繋がる】

上記のような貴重な経験から、草の根レベルではなく、より全体を俯瞰したポジションで教育に携わりたいことを悟りました。そのポジションは具体的にどのようなものなのか熟考するためにも、またそのポジションにいち早く辿りつくためにも、博士号取得を目指して進学したことはとても有意義だと考えています。

このように、インターンシップから派生して得ることのできた新たな価値観が、私の現在の活動に大きな影響を与えています。

#### 5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

異国の地で自らが思い描いていることをトライしてみる場として、ここまで様々な支援を頂けて、環境も整っているプログラムは数少ないと思います。学生向けにはなりますが、特に新興国と関わる仕事をしてみたいと思う方はぜひ参加してみてくださいはどうか。多くの人との関わりが貴重な気づきを生んでくれると思います。

#### 現在の活躍の様子



バングラデシュ再訪時  
ロボットワークショップの様子



東京工業大学大学院学位授与式